

単 元	年 組 番	3 問
4 年「昔から今へと続くまちづくり」	氏名	

年表の見方

- 何を表した年表なのかを、タイトルを見てたしかめる。
- 「いつ、どんなできごとがあったのか」、年表のおおまかな流れをとらえる。
- できごとを、次のような見方で見る。
 - 古いできごとから順に見ていき、うつりかわりの様子をとらえる。
 - できごととできごとの間は、何年間あいているか、調べる。
 - できごとどうしに、つながりはないか、考える。
- 年表を見て、気がついたことやわかったこと、疑問に思ったことなどを、ノートにまとめる。



年表の中には、下のような人物の一生を表したものもあります。猿喰新田をつくった「石原宗祐の人物年表」を見ていきましょう。

石原宗祐の人物年表

(「ふくおか人物誌②から」)

年	こ と が ら	年れい
1709	企救郡大里村(今の門司区大里)で生まれる。	
1732	大ききんで、大里村だけで126人がうえ死にする。	23さい
1737	大里村の庄屋(村人たちのまとめ役)になる。	28さい
1753	大里六本松の浜辺を畑に変える。 (浜辺を畑につくりかえる。)	44さい
1754		
1757	猿喰新田づくりにとりかかる。 (海を田につくりかえる。)	48さい
1759	猿喰新田を完成させる。	50さい
1794	曾根新田をつくるように命令される。	85さい
1803	曾根新田を完成させる。(海を田につくりかえる。)	94さい
1807	98歳でなくなる。	

平成 24 年度北九州版「よい子の社会科」15 号より転載

石原宗祐は、1737年に28さいで庄屋(村のまとめ役)になりました。



石原宗祐は、1757年から1759年までの2年間かけて、猿喰新田を完成させました。



☆ 他にも、年表から読み取れることを()に書いてみましょう。

- 石原宗祐は、猿喰新田の他にも、大里六本松の浜辺を(畑)に変えたり、(曾根)新田を完成させたりしている。みんなのために、1753年から1803年まで、およそ(50)年間も努力し続けたすごい人物だ。

単 元	年 組 番	9 問
4年「昔から今へと続くまちづくり」	氏名	

1 下の年表を見て、次の問いに答えましょう。

▼堀川ができるまで (中間市歴史民俗資料館資料などから)

今から何年前	年	こ と が ら
400年前	1620	黒田長政が遠賀川の水を調べに行く。
	1621	堀川第一期工事が始まる。
390年前	1623	栗山大膳は工事がすすまず苦しむ。 黒田長政が病気でなくなる。
		堀川の工事が中止になる。
		堀川の工事が中止になっている間も洪水や日でりがつづき、多くの死者が出る。 128年間
	1751	堀川第二期工事が始まる。
260年前	1759	榑橋又之進が車返しの工事にとりくむ。 車返しがかん通する。
		車返しの工事が完成する。
250年前	1762	堀川が洞海湾まで通じる。
240年前	1762	堀川第三期工事が始まる。
		一田久作、中間唐戸をつくる。
230年前		大洪水が何度も起こり、多くの死者が出る。
200年前	1804	堀川第四期工事が始まる。
		寿命唐戸が完成する。堀川が完成する。 183年間

平成 24 年度北九州版よい子の社会科 14 号より転載

(1) 左の年表は、何を表したものでしょう。

堀川ができるまで

(2) 堀川の工事が始まったのは、何年のことですか。

1621 年

(3) 堀川が完成したのは、何年ですか。

1804 年

(4) 堀川は、工事の開始から完成まで、何年間かかっていますか。

183 年間

(5) 次の文は第一期から第四期までの工事について書かれたものです。正しいものには○を、そうでないものには×を、() の中に書き入れましょう。

① (○) …第一期工事を指導した栗山大膳は、工事が進まず苦しんだ。

② (×) …第二期工事が始まり、堀川が洞海湾まで通じるまでに5年かかった。

③ (○) …第三期工事の後、洪水が起こった。

④ (×) …第三期工事のときに、榑橋又之進が中間の唐戸をつくった。

⑤ (○) …第四期工事で完成したのは寿命の唐戸である。